

# 平成 21 年度第 2 回岐阜県入札監視委員会議事概要

平成 21 年 9 月 15 日 (火)  
議会棟 3 階 執行部控室

## 【県建設発注工事、資格停止の運用状況等に関する質疑応答】

(質疑無し)

### 【抽出事案に関する質疑応答】

#### 1 公共総合流域防災事業 有家雪崩予防柵工事 (飛騨市河合町有家地区)

- Q : 業者が入札を辞退した理由はどのように考えているか。  
A : 積算をやり直した結果、下請の経費がかさむことがわかり、入札を辞退したとのことである。  
Q : 予定価格が安すぎないか。もう少し実態に合ったような積算をすべきではないか。  
A : 単価等については、県の通常のルールに従い、適正に積算した。  
Q : 入札参加者を 25 者見込んでいて、結果として入札参加者が 3 者となったのは何故か。  
A : 斜面に基礎杭を打つという特殊工事があったためと考えるが、去年は 8 者程度の参加があった。  
Q : 前年の工事は、どこが施工したか。  
A : 今年と同じ業者が施工している。  
Q : この種の工事は、計画的に行っているのか。  
A : はい。本箇所は集会場等を有しているので、他の地区よりは優先して整備している。  
Q : 結果的に 1 者のみの入札であるが、入札は有効なのか。  
A : 一般競争入札なので 1 者でも有効である。

#### 2 公共急傾斜地崩壊対策事業工事 (揖斐郡揖斐川町長良地内)

- Q : 予定価格の事後公表を行ったのは何故か。  
A : 予定価格を公表することで、それが目安となって競争性が制限されたり、建設業者の見積もりの努力が損なわれることも予想されるため、国交省の要請も踏まえて、事後公表を試行した。  
Q : 今回の入札では、予定価格より低いのが 1 者のみであり、この結果はどのように判断するか。  
A : 特に仮設工事に係る各社の見積が、県の積算よりも高かったためであると考えます。  
Q : 落札率が非常に高いが、予定価格の事後公表は成果を得たのか。  
A : 当事務所では、事後公表の案件はもう 1 件あり、こちらは 1 回目の入札で予定価格まで達せず、2 回目で 93% 程度で落札された。やはり、目安となる予定価格が無いので、各社が正直にやれる範囲内で積算した結果であると考えます。  
Q : 一般競争入札で辞退者がいるのは何故か。  
A : 最初は手を挙げてみたが、技術者等が確保できないと判断したためと推定している。

#### 3 公共道路災害復旧事業 (一般国道 157 号 本巣市根尾黒津地内)

Q： 工事の日程はどうか。また、契約審査会は、どのような内容であったか。

A： 本工事は災害として4月上旬に国土交通省に報告し、4月中旬に学識経験者に現地調査していただき、緊急に対応しないと危険ということで、4月下旬の契約審査会に諮った。

Q： 県の積算はどのように行ったか。

A： 今回の災害復旧工事が施工ができる近県の3者から見積もりを取って積算した。

#### 4 公共河川総合開発事業 丹生川多目的ダム取水放流設備工事（高山市丹生川町折敷地地内）

Q： 本工事は、当初からこの時期に施工することが予定されていたのか。

A： 当初の計画どおり、他の箇所の工事が終わってから、当該設備工事を実施した。

Q： 2者入札に参加して、1者が辞退したということは、初めから想定されたか。

A： 国内の実績が少ない工事であり、入札に参加する業者が少ないことは予想していたが、2者というのは予想より少なかった。

Q： 落札率が非常に高いが、業者のいいなりではないか。

A： 積算は県のルールに従って行い、部分的に数社から見積もりを取って、県の価格を決定した。落札率が高い原因は不明であるが、ダム工事を施工できる業者が減っているという事情もある。

Q： 今後、補修等のメンテナンスが必要となった時の対応は大丈夫か。

A： なるべくメンテナンスの手間がかからない方向で事業を行っているが、メンテナンスができる技術者が減っていることは我々も心配しており、そういう技術者を一定量残すためにも、ある程度の仕事が必要だと思う。

#### 5 岐阜北高普通教室棟2期建築工事（西棟）（岐阜市則武清水地内）

Q： 前年の1期工事は、どこが施工したか。

A： 今回の入札に参加しているJVである。今回は、総合評価では2位で落札者とならなかった。

Q： 入札率について、70%代と80%代の2つのグループがあるが、これはどういう理由か。

A： 低入札調査基準価格に近いグループと、失格判断基準の額に近いグループである。

Q： 学校の校舎に係る工事は、いつも同程度の入札率か。この落札率で、業者は利益がでるのか。

A： 去年の1期工事は低入札ではなかった。今年は民間の仕事が非常に少ないということで、公共の仕事が取り合いになっている状況だと推測している。

#### 6 奥地保安林保全緊急対策事業 根尾谷（山県市葛原根尾谷）

Q： これだけ落札率が低いのは、やはりどうしても取りたいということか。

A： そこまでの確認はしてませんが、多分、そうだと思う。

Q： 落札率が低いのは、予定価格が高すぎたのか。

A： 積算につきましては、国の設計積算基準をもとに適切に行っている。

Q： 辞退が4者あるが、辞退した理由は。

A： 手持ちの工事があつたと聞いている。

Q： 指名の段階で、指名状況等を見て、辞退しないと思われる業者を選定することはできないか。

A： 県の工事は把握しているが、市町村や民間の工事までは、把握しきれない。